

(概況)
 平成15年の大分県鉱工業生産指数は、107.1で前年比7.1%と2年連続の上昇となった。
 全国生産指数は95.0で前年比3.3%と3年ぶりの上昇となった。九州は99.9で前年比5.2%と3年ぶりの上昇となった。
 本県の鉱工業の動向について、生産指数を四半期別にみると、1期は前期比で低下したものの、2期、3期、4期は前期比で上昇した。
 業種別にみると、前年に比べ一般機械工業、電気機械工業、木材・木製品工業等11業種が上昇し、精密機械工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等7業種が低下した。特に一般機械工業、電気機械工業の2業種で上昇寄与全体の84.3%を占めている。
 財別では最終需要材が4年連続で上昇、建設財が5年連続低下し、耐久消費財が4年連続の上昇、非耐久消費財は5年ぶりに上昇した。生産財は2年連続の上昇。
 出荷指数は、113.7で前年比6.9%となり、2年連続の上昇となった。業種別にみると、前年に比べ一般機械工業、電気機械工業、木材・木製品工業等10業種が上昇し、精密機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業等8業種が低下した。
 在庫指数は、92.6で前年比-9.9%となり、2年連続の低下となった。業種別にみると、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、電気機械工業等8業種で上昇し、窯業・土石製品工業、繊維工業、家具工業等9業種が低下した。

【生産指数及び対前年比の推移】

生産指数(平成12年 = 100)

